

玉幡小ホームページ<https://www.city-kai.ed.jp/rtsho/> から学校の様々な情報を見ることができます。

甲斐市立玉幡小学校 令和2年度 学校便り 第15号



チーム玉幡

令和2年9月24日

学校長 丸茂和也

一体感のある演技・競技で～運動会の取り組みから～

保護者の皆さま、日頃の学校の教育活動に際すご理解、また毎日の検温を始めとする健康観察、健康管理へのご協力に感謝申し上げます。4連休を経て、いよいよ運動会本番を迎えます。運動会実施に際し、観覧の方法等を始め例年と異なる内容をお願いしました。昨日までに配付した通知について、ご理解とご協力をいただけますよう重ねてお願い申し上げます。

今年は例年と違い、制限の多い中での取り組みでした。練習時間も限られていましたが、子どもたちは先生たちの指導の下で精一杯演技・競技に取り組んでいました。練習の輪の中に入ると、そこにいる人たちの気持ちや思いが伝わってきて自分の心も熱くなってきました。本気の心は見る人の心を動かし、自分自身を成長させていくのだと改めて感じています。



人は多くの人の中でもまれることを経験した方が良く、その数は多ければ多いほどいい、という言葉聞いたことがあります。そのことを伝えてくれた方は、川の上流の石と海辺に近い下流の石に例えてこんなことを話してくれました。「川の上流の石は、大きくてごつごつしている、でも川を下ってくる間に他の石とたくさんぶつかったり、川壁にこすれたり、転がってくるうちに、下流や海辺に着くころにはちょうど良い大きさになって、丸みを帯びてすべすべになってくる。人もこれと同じで多くの個性と触れ合うことで、自分の心が丸っこく、すべっこくってくる」というものでした。



またエジプトのピラミッドは、一つ一つの石それぞれが支え合って、つながり合って全体としてあのよう立派な一つの大きなまとまりになっている、一つ一つがみんな大事でいらぬ石など一つもない、という話から、何かを成し遂げるには一人一人の力は大きく、力を合わせると1+1が10にも100にもなる、ということも聞きました。

運動会の演技や競技は一人で成り立つものではなく、全員の心が意志をもってつながったときに一体感が生まれ、大きな成果を感じることができます。人は人の中で育つことができる、人の良さを実感することができる、心と心をつなぎ絆を深めることができる、そのことで自分が成長することができる、運動会はそんな貴重な機会と感じています。



当日来ていただく保護者の皆様には、健康観察や人数の制限、観覧いただく時間等を始め多くのご理解をいただかなくてはなりません、子供たちの精一杯の、また玉幡小学校のみんなが一体となった演技・競技をぜひご覧いただき、温かな拍手をいただけますと幸いです。

「みんなでつなげ！ 協力 笑顔 絆のたすき」のテーマのもと、全校の子どもたちが躍動します。運動会当日何とぞよろしくお祈いします。

